



藤沢記者クラブ各位

シンポジウム『下土棚諏訪ノ棚遺跡と氷期の藤沢』を開催します！

～藤沢の歴史で最も古い時代、旧石器時代に迫ります～

近年、藤沢市内では北部の下土棚諏訪ノ棚遺跡を中心に、今からおよそ1万6千年以上前の旧石器時代の遺跡が多数発見され、発掘調査が行われています。旧石器時代は人類の歴史で最も古い時代で、当時の人々は、石を割って作った道具である石器を使い、狩りなどをしながら生活していました。

今回、これらの調査成果を市民に広く周知し、旧石器時代の藤沢の様子に迫るため、シンポジウムを開催します。

○シンポジウム『下土棚諏訪ノ棚遺跡と氷期の藤沢』開催概要

1. 日時 2026年（令和8年）2月14日（土）13時開会（12時30分開場）

2. 場所 F プレイス ホール（小田急江ノ島線「藤沢本町」駅徒歩9分）

3. 講師 諏訪間 順 氏（明治大学黒耀石研究センター）

麻生 順司 氏（株式会社玉川文化財研究所）

高屋敷飛鳥 氏（神奈川県教育委員会）

桐原 弘亘 （藤沢市郷土歴史課）

4. 参加費 無料

5. 申込み 不要（定員300名）

6. その他

- ・ホール入り口で、藤沢市内で出土した旧石器時代の遺物の展示を行います。

下土棚諏訪ノ棚遺跡で出土した石器（細石刃）▶



【この資料に関する問い合わせ先】

藤沢市役所生涯学習部郷土歴史課

内 線：5313

担 当：桐原

直 通：0466(27)0101

